

氏名	菅谷明子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博甲第 5016 号
学位授与の日付	平成26年 6月30日
学位授与の要件	医歯薬学総合研究科機能再生・再建科学専攻 (学位規則第4条第1項該当)

学位論文題目	Effectiveness of Domain-Based Intervention for Language Development in Japanese Hearing-Impaired Children: A Multicenter Study (日本の聴覚障害児へのドメイン別言語指導の有用性に関する多施設共同研究)
--------	--

論文審査委員	教授 白神 史雄 教授 阿部 康二 准教授 吉永 治美
--------	-----------------------------

#### 学位論文内容の要旨

言語習得期前高度難聴に続発する言語発達障害は、児に広範な影響を与えるため、適切な介入が必要である。しかし難聴児に限らず、学齢期の言語発達障害に対する介入のエビデンスは確立されていない。我々は、ドメイン別言語発達評価に基づいた個別言語指導効果を検証するため、多施設共同介入試験を行った。

ドメイン別言語評価に基づいて指導プログラムを選択し、6ヵ月間の言語指導を施行、併せて保護者・指導者に児の日常生活の質問票調査を行い、介入前後で比較した。

(介入群) また、言語スコアの伸びを全国調査(基礎調査群)及び経時的に言語発達評価を受けた児(対照群)と比較した。

介入後の言語発達および質問票スコアは、介入前と比べ全項目で有意な改善を認めた。また、介入群の1ヵ月あたり言語スコアの伸びは、基礎調査・対照群と比べ有意に高値であった。(p<0.05)

言語発達評価と言語指導を体系的に行えば、就学後の高度難聴児の言語力は大きく改善すると考えられた。

#### 論文審査結果の要旨

本研究は、言語指導プロトコルを作成し、ドメイン別言語発達評価に基づいた6ヵ月間の言語指導効果を検証する目的で多施設共同前後比較試験を行った結果、聴覚障害児の学童期の言語発達障害に対する介入を新たに確立した。この業績は、医学的にも社会的にも極めて有意義である。

よって本研究者は博士(医学)の学位を得る資格があると認める。